

第2章 話し合いの方法、分析の方法及び話し合いの結果

この章においては、まちづくりディスカッションの話し合いの結果をまとめ、市民からの提案の内容について、テーマ毎に述べる。

I まちづくりディスカッションの話し合いの方法

第4次基本計画策定に向けた「みたかまちづくりディスカッション」においては、今までのまちづくりディスカッションの検証・評価、実行委員会での議論、市からの要望を踏まえて4つのテーマを5回に分けて話し合うようにした。

まちづくりディスカッションの話し合いの方法については、1テーブルにつき5人ずつでグループを作り、1時間の話し合いを5回行うこととした。1回の話し合いでは、作業用のシートとなる模造紙（話し合いのシート）を置いたテーブルを囲んで、付箋紙（13cm×8cm）を使って自由に意見を出しながら、3つまでに意見をまとめ、模造紙（話し合いのシート）の所定の欄に記入したうえで、それをもとに各グループごとに発表を行い、テーマ別会場内の全グループが発表を終えた後、それらの意見に対する傾向と分布を見る目安とするためにシールを貼りつける形式で投票を行うこととした。

また、毎回メンバーを入れ替えるため、ひとつのテーマで25人の定員とした結果、4テーマ合わせて総勢100人規模で実施する方針とした。投票については、一人シール6枚で行った。

1回目の話し合いは、イントロダクションとして位置づけ、緊張を解きほぐすため、テーマ毎に楽しく前向きな意見が出やすいように現在の良いところを考える内容の設問とした。2回目の話し合いは、2日目の本格的な議論の前に現在の問題点を考えてもらう設問とした。3回目の話し合いは、第4次基本計画に盛り込む内容を検討するために、テーマ毎に理想的な状態を考えてもらう設問とした。4回目の話し合いは、理想的な状態にするために自分たちや地域でできることを考えてもらう設問とした。5回目の話し合いは、第4次基本計画に盛り込む内容をまとめていただく設問とした。

II 分析の方法及び話し合いの結果

分析の方法については、参加者が模造紙（話し合いのシート）に記入した「まとめ」の意見について、話し合いをする中で書かれた付箋の意見も参考にしながら主旨が同じと思われるものをグループ分けして投票数が多い順に分類をした。

投票数が多い順としたのは、投票数の多寡が参加者の共感の度合いを反映していると捉えたからであるが、計画に反映するための意見として市に報告する際には、特に得票数によるまとめなどは行わず、参加者が模造紙（話し合いのシート）に記入した「まとめ」の意見をそのまま報告した。

また、話し合いの結果については、平成24年1月23日（月）に実行委員会の作業部会を開催し、分析の方法についての検討を行ったうえで作成している。

Ⅲ 話し合いの結果

テーマA ともに支えあうまち【第1回話し合い】

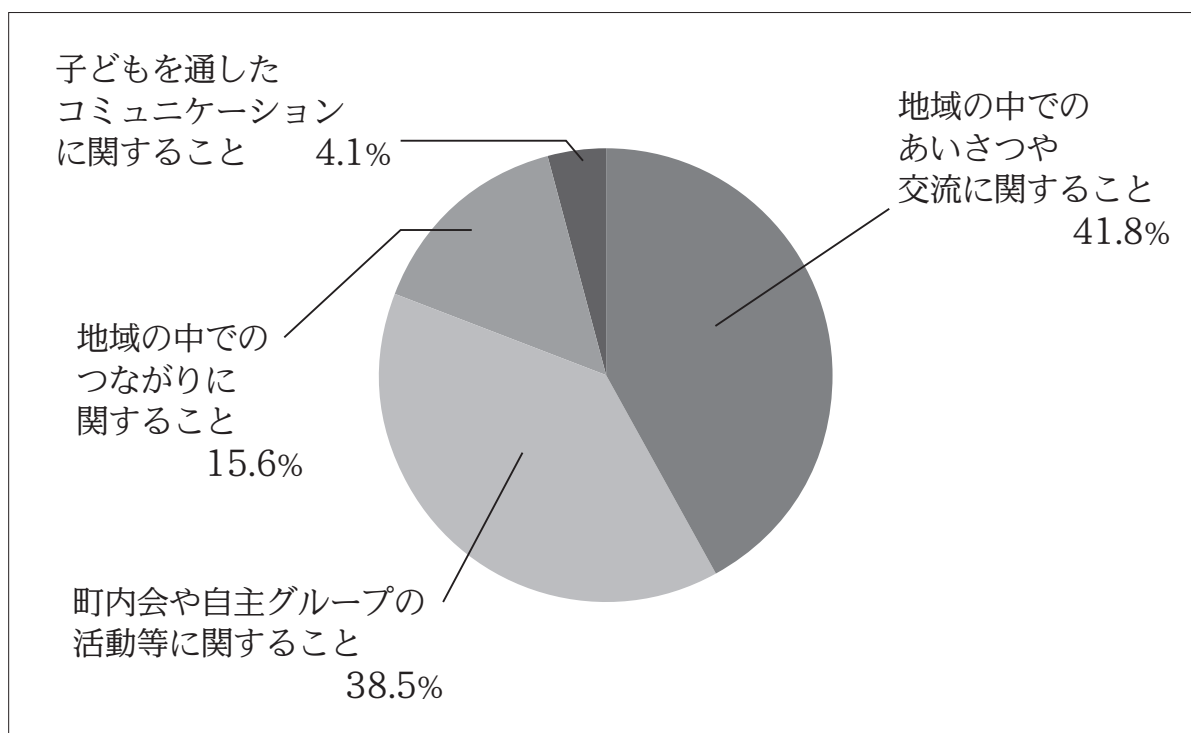
今でも三鷹で人と人とのつながりが残っていると感じるのは、どのような時ですか？

**隣近所など地域のあいさつや交流を通して感じる。
町内会など地域の行事や活動を通して、あるいは趣味や同好会などの
自主グループの活動の中で感じる。**

第1回の話し合いの投票結果によれば、「地域の中でのあいさつや交流」を通して感じるが、41.8%と最も多く、次いで「町内会や自主グループの活動等」を通して感じるが38.5%となっている。

一方、「つながりがほとんどない」という意見も、15.6%あった。

●つながりが残っていると感じる時



●第1回の残したい意見

自然豊かなエリアで写真をとっていた時話しかけられた／(丸池公園)稲、もちつき／近所の川で写真さつえいを楽しんでいたらおばあちゃんに話しかけられた。／つながりを感じる事が、まったくない／認知症の方(本人)の連絡先をつけてもらいたい。／認知症の方の病院を作ってもらいたい。／高令者の働く場づくり／商店街の活用(宅配サービス強化と見守りサービスの提供)

●第1回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○地域の中でのあいさつや交流に関すること			
日常のあいさつを通じて地域の人とコミュニケーションを形成している時。	13	51	41.8%
隣り近所の方との交流	10		
非日常時に、困った時に危機的感情を共有し、多くの方が手を差しのべてくれた時。	10		
公共施設の利用	9		
家族・隣近所・親せきとの話し合い、交流、あいさつなど(インターネットも)	6		
お互いの思いやりの心を大切にする時。	3		
○町内会や自主グループの活動等に関すること			
ボランティア、サークルなどによる情報・関係づくりの場をいかに広げることができるか→人間関係の豊かさにつながる	14	47	38.5%
町内会及び自主活動グループでの取り組みを通じてのつきあい・つながり	10		
地域の活動(町内会・趣味・同好会・野菜販売)を通じて	10		
地域の行事の活性化、参加の仕方、運営の工夫。	7		
地域や学校の行事	4		
地域主催の祭りへの参加	1		
町会	1		
○地域の中でのつながりに関すること			
つながりがほとんどない 仕事で疲れ果てて、それどころでない	19	19	15.6%
○子どもを通じたコミュニケーションに関すること			
子供を通じたコミュニケーションを子供の成長に即した形で維持し続けることが大切。	5	5	4.1%
合 計		122	100.0%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

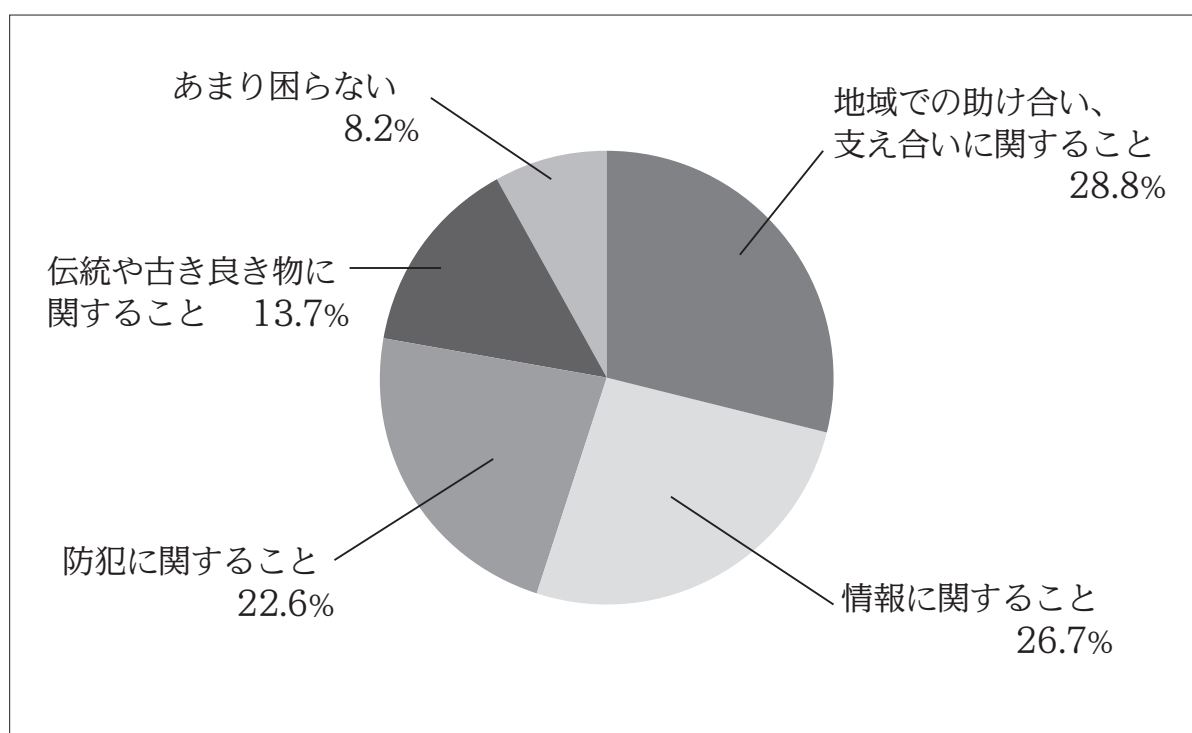
テーマA ともに支えあうまち【第2回話し合い】

地域のつながりが希薄になると、何が不安なのか、あるいは何が困るのかについて話し合ってみてください。

病気や災害時などの緊急時の助け合いや必要な情報の入手に関して不安を感じる。また、日常生活の中では、地域での助け合いや防犯に関して不安を感じる。

第2回のお話し合いの投票結果によれば、不安に感じたり困ったりすることは大きく3点で、「地域での助け合い、支え合いに関すること」が28.8%、「情報に関すること」が26.7%、「防犯に関すること」が22.6%であった。すでに希薄なので、あまり困らないという意見も8.2%あった。

●何が困るのか



●第2回の残したい意見

メールなどのIT機器がつかいこなせない。／豊かな生活や心のゆとりから遠ざかってしまう／交番の人と知り合いになっておくとかあったときに対応してくれる／地域の発展を阻害する

●第2回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○地域での助け合い、支え合いに関すること			
病気や災害時など緊急時に頼れる人がいない。	14	42	28.8%
日常で、助けてもらいたい時に助けてもらえない。	11		
日常生活で小さなお願いごとや相談ができない。	11		
町内会全体が高齢化し、買物が不便だったり、何かアクシデントがあったときに対応できない	6		
○情報に関すること			
災害時、緊急時に正確な情報が入らない	13	39	26.7%
病気・災害時に情報が入ってこない、子どもや高齢者の安否確認ができない、助けを求められない	13		
必要な地域の情報が入らない。(イベント、治安情報)	10		
非常時の連絡方法が無くなる	3		
○防犯に関すること			
地域を見守る目がなくなる	11	33	22.6%
犯罪に対応できない(地域のつながりがいないため)	8		
防犯意識の低下(自分勝手になりがち)	8		
地域の防犯活動が損なわれつつある。	6		
○伝統や古き良き物に関すること			
伝統や古き良き物が失われる	20	20	13.7%
○あまり困らない			
すでに希薄なので不安、困ることが感じていない	8	12	8.2%
災害時、火災時、誰が住んでいるか、何をしているかが、わからない(助けられない)	4		
合 計		146	100.0%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

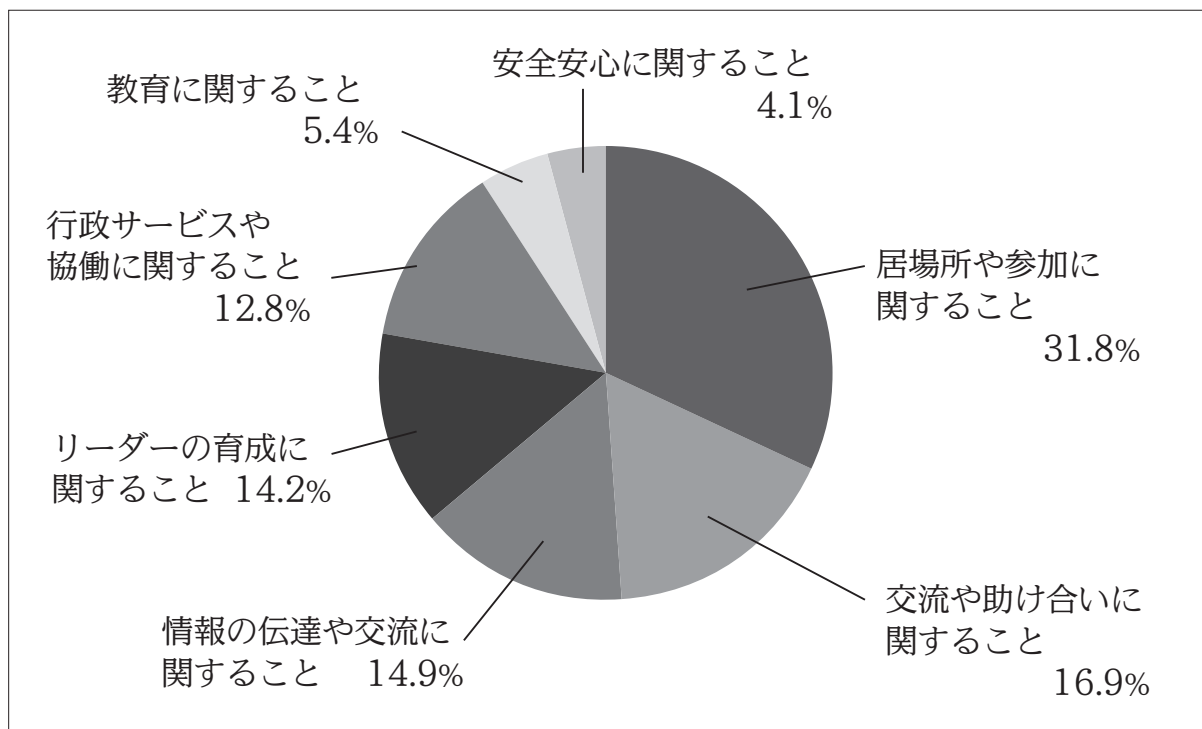
テーマA ともに支えあうまち【第3回話し合い】

「ともに支えあうまち」の観点から、三鷹市がどんなまちになったらいいと思いますか？

**地域の活動への参加のきっかけが、たくさんあるまち。
気軽に集まれる場所があるまち。
災害時・防犯等に助け合え、子ども・障がい者にやさしいまち。**

地域の活動に気軽に参加できるきっかけづくりや居場所づくりへの要望がもっとも多く、31.8%であった。ほかに、「交流や助け合い」、「情報の伝達」、「リーダーの育成」、「行政サービスや協働」などに対する意見が10%代で並んだ。

●どんなまちになったらいいと思うか



●第3回の残したい意見

コミュニティバスを増やしてほしい。路線の拡充／子育てサービスの拡充。／小田急バスの回送の廃止 コミュニティバスがもっと走りまわっている／交通の利便の向上(コミュニティバスの整備)／三鷹市ならではの特色を生かすまちづくり／水と緑のきれいな町

●第3回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○居場所や参加に関すること			
高齢者だけで無く昼間働いている人が夜に集まれる場所がほしい	18	47	31.8%
地域の活動への参加のきっかけが、たくさんあるまち(場所、イベント、相談員等)	13		
だれでもが共有できる、気がるに参加できる場所(但、個人情報保護法、等をかんがみること)[個人のそんげんの重視]	9		
より地域に密着した場所作り(既存の場所の充実と新たな場所作り)	7		
○交流や助け合いに関すること			
育児中の母親や足の不自由な方でも気軽に外出できるまち	16	25	16.9%
災害時・防犯等に助け合え、子供・障害者にやさしい町	9		
○情報の伝達や交流に関すること			
情報を集約・発信し、世代間の交流の場の運営	14	22	14.9%
情報伝達を、多用に持ち合わせる	8		
○リーダーの育成に関すること			
地域リーダーの育成	11	21	14.2%
交流の中心となる地域リーダーの育成支援	10		
○行政サービスや協働に関すること			
高負担でも行政サービス等が充実しているまち	9	19	12.8%
官・民・ボランティア ^{など} 他が協力できる体制。	6		
困ったことを相談できる窓口。そこから必要な地域の人や場所につながるシステム	4		
○教育に関すること			
豊かな教育の町	8	8	5.4%
○安全安心に関すること			
治安並びに、安全・安心にて生活できる、まち	6	6	4.1%
合 計		148	100.1%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

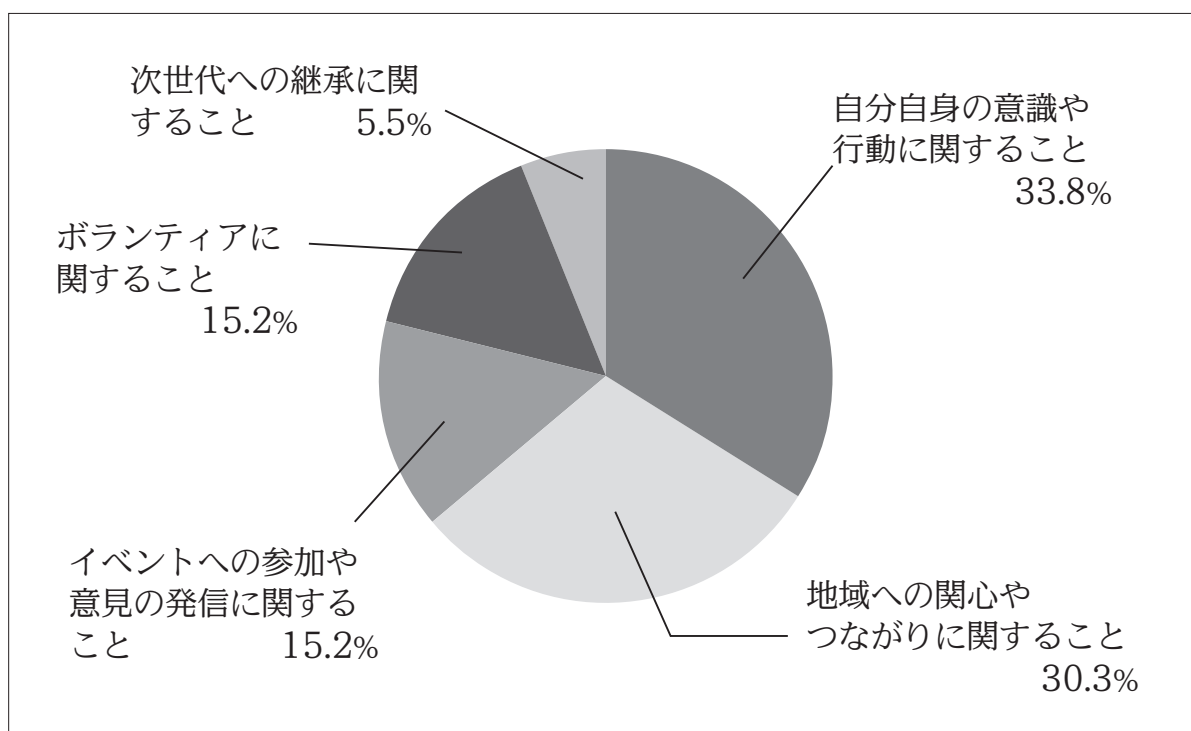
テーマA ともに支えあうまち【第4回話し合い】

「ともに支えあい、安心して暮らせるまち・三鷹」にするために私たちができることは
なんでしょう？

**三鷹のために何ができるか、自分なりに考え、行動すること。
地域への関心を高め、あいさつや声かけをしてみながりをつくること。**

「地域から受けている恩恵を自覚し感謝する」、「なるべく近くで買い物をする」など、自分自身の意識や行動に関することが33.8%、次いで、「隣近所への見守り意識を持ち、声かけを広める」など、地域への関心を高め、あいさつや声かけをしてみながりをつくることが30.3%、イベントへの参加や意見の発信に関することとボランティアに関することが、共に15.2%で並んだ。

●私たちができることはなんでしょう



●第4回の残したい意見

労力の提供する／サービスチケット制／バリアフリーを推進する／コミセン間の交流をして学び合う／ケーブルテレビのCM等で情報発信／市民バーの設置

●第4回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○自分自身の意識や行動に関すること			
地域から受けている恩恵を自覚し感謝	15	49	33.8%
なるべく近くで買い物をする	11		
三鷹市民であることの自覚と誇りをもち三鷹市の良さをアピールし、より良い三鷹のために何ができるかを考える。	7		
地域の交流の場を作り、子供の安全・防犯等を自分なりに考え行動する	7		
それぞれのライフステージで生活を(仕事・子育て・地域参加 etc.)楽しむ	5		
非常時に正確な情報を自治体及び近所から入手する	4		
○地域への関心やつながりに関すること			
隣近所への見守り意識を持ち、声かけを広める(あいさつ・等を含む)	11	44	30.3%
日常生活でのあいさつ、近隣とのつきあい、居場所づくり	11		
地域に関心をもつ(挨拶、交通ルール)	9		
いろいろな人とつながりを作るために、心をひらき声をかけネットワークを築く	7		
地域のあいさつ・高齢者の名簿等を作り声掛を自分から進んで行う	6		
○イベントへの参加や意見の発信に関すること			
見守り活動・イベントへの参加等	14	22	15.2%
積極的に意見を発信・行事に参加する	8		
○ボランティアに関すること			
ボランティアをしたくなるシステム作り。(情報発信、ニーズの把握、地域通貨、市民居酒屋)	22	22	15.2%
○次世代への継承に関すること			
次の世代へ三鷹のよさを伝える語り部を育成する(三鷹の良い思い出をつくる)	8	8	5.5%
合 計		145	100.0%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

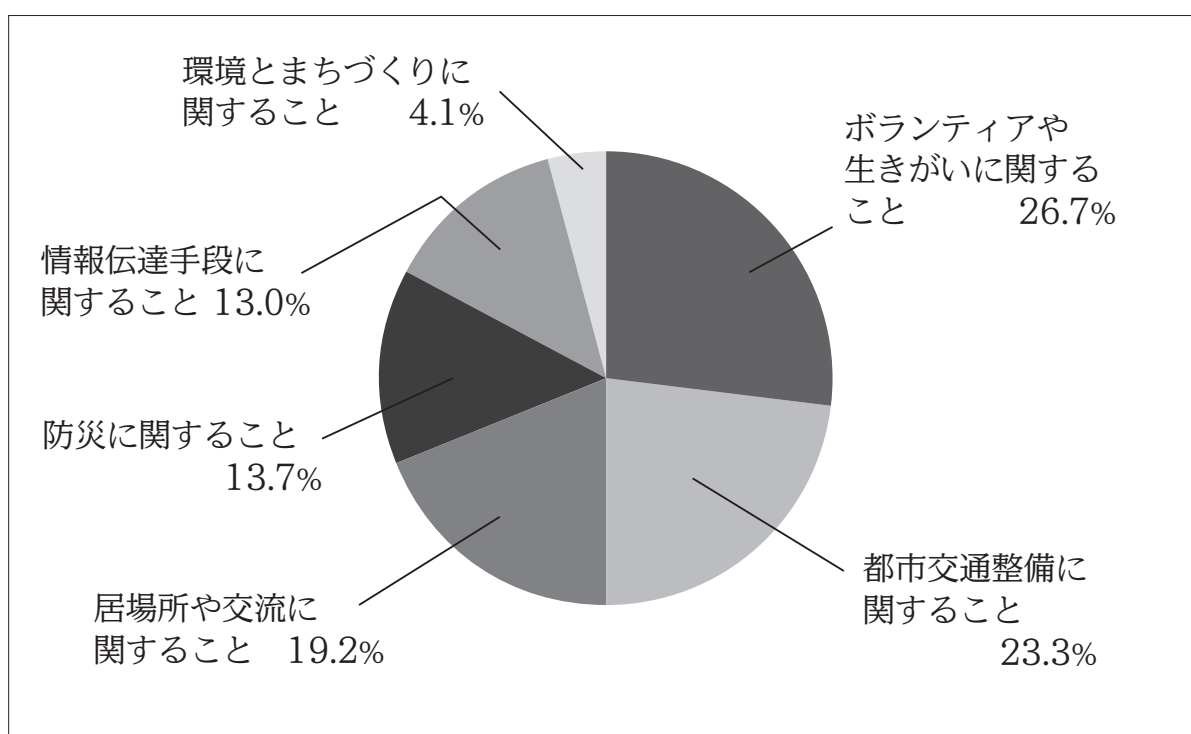
※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

テーマA ともに支えあうまち【第5回話し合い】
基本計画に盛り込んだ方が良くと思うアイデアをまとめてください。

ボランティア活動の推進のためのシステムの充実。 コミュニティバスの利便性の向上。 同世代、世代間の交流促進。

第5回の話し合いの投票結果では、「ボランティア活動の推進、募集、登録、運用のシステムの充実」などボランティアに関することが 26.7%と最も多く、次いで、コミュニティバスの利便性の向上などの都市交通整備に関することが 23.3%、居場所や交流に関することが 19.2%を占めた。

●基本計画に盛り込んだ方が良く思うアイデア



●第5回の残したい意見

子供達が自由に遊べる公園(ボール遊びなど)／親が仕事で、子供の教育あそび、を、できない場合において、そのサポートを、する経けんのある、人員の、ベースを、つくる。／子供のためのアドベンチャーと「あそび心」から親子で学ぶ、スペース、と、イベント(現在、子のあそび場がない／コミセンなどのサロンを10時からオープン／仕事している人も交流できる時間にオープンしている場／コミュニティバスの拡充／困った時の「かけこみ寺」を市役所内におく／震災時の緊急マニュアルの作成、配布／小さな商店を大切に。(チケット制、バス停、スタンプ、等による支援)／幼稚園とデイサービス等のタイアップによる交流／働く世代の地域貢献の機会を作る(仕事後や休日のできる範囲で)

●第5回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○ボランティアや生きがいに関すること			
ボランティア活動の推進、募集、登録、運用、のシステムの充実	16	39	26.7%
参加しやすいボランティアのすすめプロジェクト(気軽なお手伝い)	10		
高令者の生きがいの場。(仕事場など、活躍できる機会の提供)	9		
サポーターの意思表示マーク	4		
○都市交通整備に関すること			
市内でも、不便な場所が多いので、バランスのとれた町づくり、コミュニティバス、保育サービス、小学校の場所	10	34	23.3%
高令者や子育て世代にとっての利便性の向上(マイクロバスできめ細かなルート作り。ベンチの設置。子育て支援の充実。個人宅への出張サービス)	8		
三鷹シティバスの料金を100円にする!	8		
コミュニティバスを増やし、安くする(交流の機会増加)	4		
交通安全重点施策 自転車対策 通行区分の明確 ルールとマナーの教育 バリアフリー化	4		
○居場所や交流に関すること			
同世代、世代間の交流促進(第一歩としてディスカッションの機会を多く作る)	19	28	19.2%
三鷹市民の居場所づくり(市民ガーデン、市民バーetc.)	9		
○防災に関すること			
災害時の市の指針を周知する	11	20	13.7%
国に頼らない三鷹市独自の防災対策及び女性視点からの防災(空き屋が増えている)	9		
○情報伝達手段に関すること			
情報発信ステーションの設置(駅前など)	19	19	13.0%
○環境とまちづくりに関すること			
緑を増やすのは賛成ですが、交通量が増えることに対する配慮(公害)が必要 外環道路について	6	6	4.1%
合 計		146	100.0%

※得票率の合計は、計算上100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

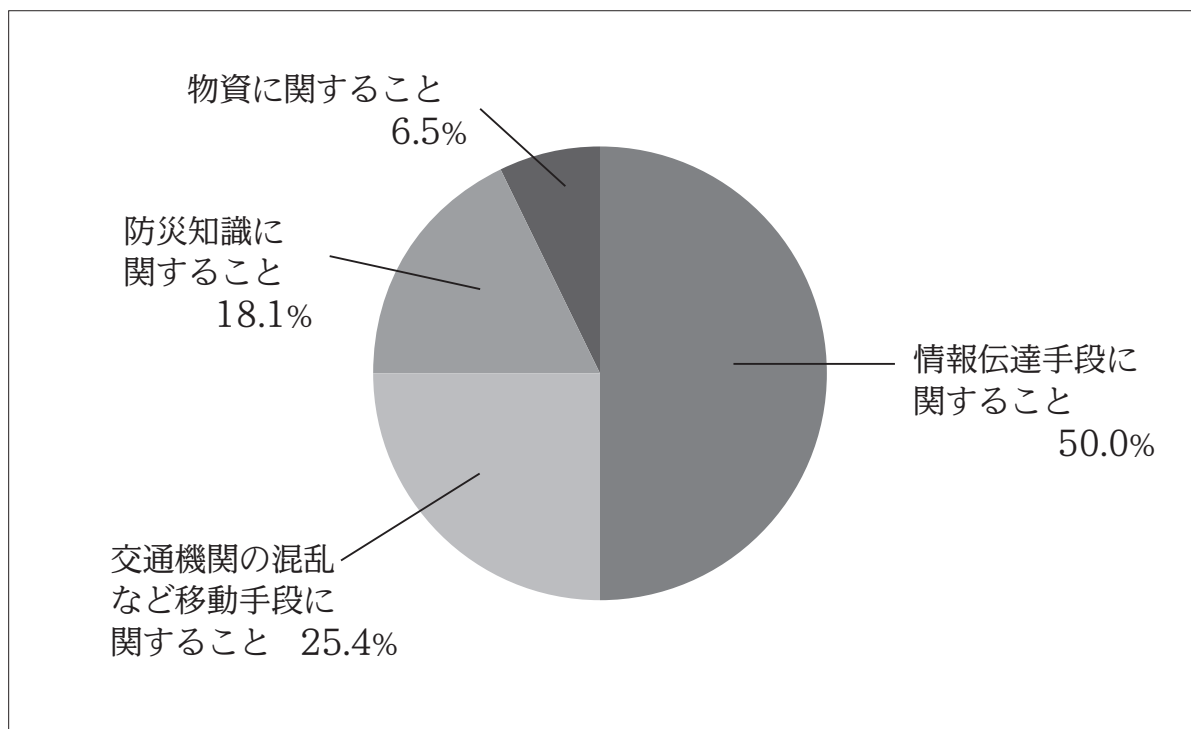
テーマB 災害に強いまち【第1回話し合い】

3月11日の地震の時、あなたの身の回りでは、どのようなことが起こり、どんなことが困りましたか？

通信手段の混乱により家族の安否確認ができなかった。 交通機関がストップし、帰宅困難となった。

第1回のお話し合いの投票結果によれば、家族の安否確認ができなかったことや防災アナウンスが聞こえなかったことなど、情報伝達手段に関することが50.0%と最も多く、次いで交通機関がストップしたことにより帰宅困難となったなど、移動手段に関することが25.4%を占めた。

●3月11日の地震の時に困ったこと



●第1回の残したい意見

ライフラインがストップした時の対応に対する不安／物資の買占めによる不安／車の運転中は、地震が起きたことに気がつかなかった。／近隣の人とのコミュニケーション不足と必要／日ごろからの防災グッズの準備【水(家族人数)×1人2L3日分・電池・ラジオ等】していたので助かった

●第1回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○情報伝達手段に関すること			
【行政】 計画停電・防災情報が聞こえないことによる混乱 *防災アナウンス	20	69	50.0%
情報格差(個々の立場、状況、年齢等により得られる情報が違う)	12		
家族の安否確認!	12		
【個人】 通信手段の混乱による安否確認と情報不足による不安	9		
家族との連絡がつかずに困った	9		
家族との連絡が取れなかった。	7		
○交通機関の混乱など移動手段に関すること			
帰宅困難!	12	35	25.4%
交通機関がストップし帰宅困難となった	10		
【起業】 インフラの混乱(通信、道路、施設)	9		
交通マヒのため移動が困難だった。	4		
○防災知識に関すること			
正しい防災知識の習得!	25	25	18.1%
○物資に関すること			
不安による買占めのため物が買えなかった。	9	9	6.5%
合 計		138	100.0%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

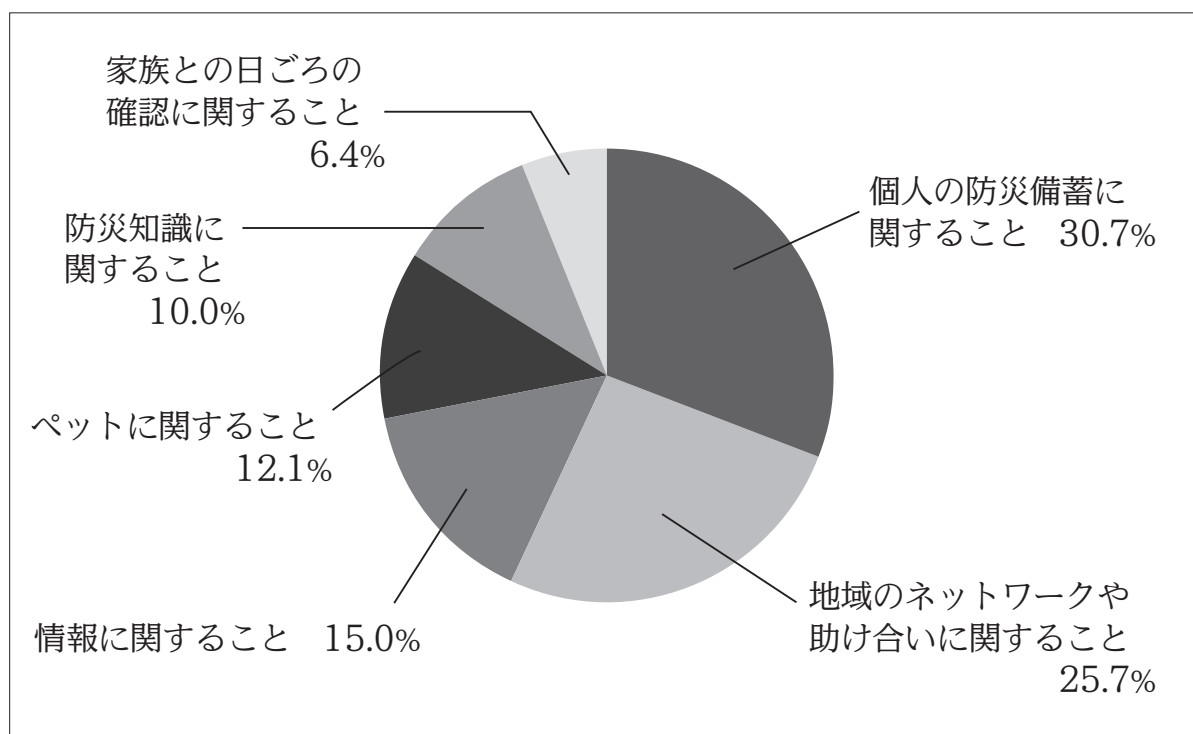
テーマB 災害に強いまち【第2回話し合い】

3月11日を振り返って、個人や家庭で、どんな備えをしておけばよかったと感じましたか？

**水や食料品など必要最低限の物の確保。
困ったときに助け合う人的ネットワークをつくっておくこと。
情報取得のための備えをしておくこと。**

第2回のお話し合いの投票結果によれば、水や食料品・現金など災害時に必要最低限の物の確保等、備蓄に関することが 30.7%。困った時に助け合う人的ネットワークに関することが 25.7%。充電器やラジオ等、情報取得のための備えをしておくなど情報に関することが 15.0%を占めた。

●個人や家庭で備えておけばよかったこと



●第2回の残したい意見

登山用品・ヘルメットの確保／直後は、あわてない／火災等に強い種類の樹木による森の育成・維持(ex.シイ・タブ・カシ)／天ぷらは揚げない／家の構造のチェック(今ある家の構造)／トイレの場所、情報を充実させておきたかった。／・災害時の自家用車の規制。(乗り合いをする仕組。)/災害時の心構え。(会社に止どまる勇氣！！判断)／防災器具の市からの購入取り付(高令者住宅)

●第2回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○個人の防災備蓄に関すること			
防災グッズの中に必ず当座の現金を入れる	18	43	30.7%
水・小銭・非常時に備えた必要最低限の物の確保(地震・停電など) (食料・薬・防災キットなど)	11		
備蓄品の工夫→買い物上手になる!	9		
【物】食料品等の備蓄、防災グッズの備え。	5		
○地域のネットワークや助け合いに関すること			
【人】困った時に助け合う 人的ネットワーク!!	19	36	25.7%
町内会のあり方と人数の把握	17		
○情報に関すること			
【情報】各家庭における帰宅ルートの確認、情報取得の為の備え (充電器、ラジオ etc.)	12	21	15.0%
個人として必要な情報(番号)の備え 電話番号等の情報を手帳等に保存	9		
○ペットに関すること			
ペットも家族なので、フード・水・迷子札(マイクロチップ)などの準備と ペット同伴の避難に備えた環境・ネットワークの整備	17	17	12.1%
○防災知識に関すること			
正しい防災知識(詳しい防災マップ等)	14	14	10.0%
○家族との日ごろの確認に関すること			
家族と確実に安否確認できるようにする。	7	9	6.4%
避難経路・集合場所の確認、*家族との会話	2		
合 計		140	99.9%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

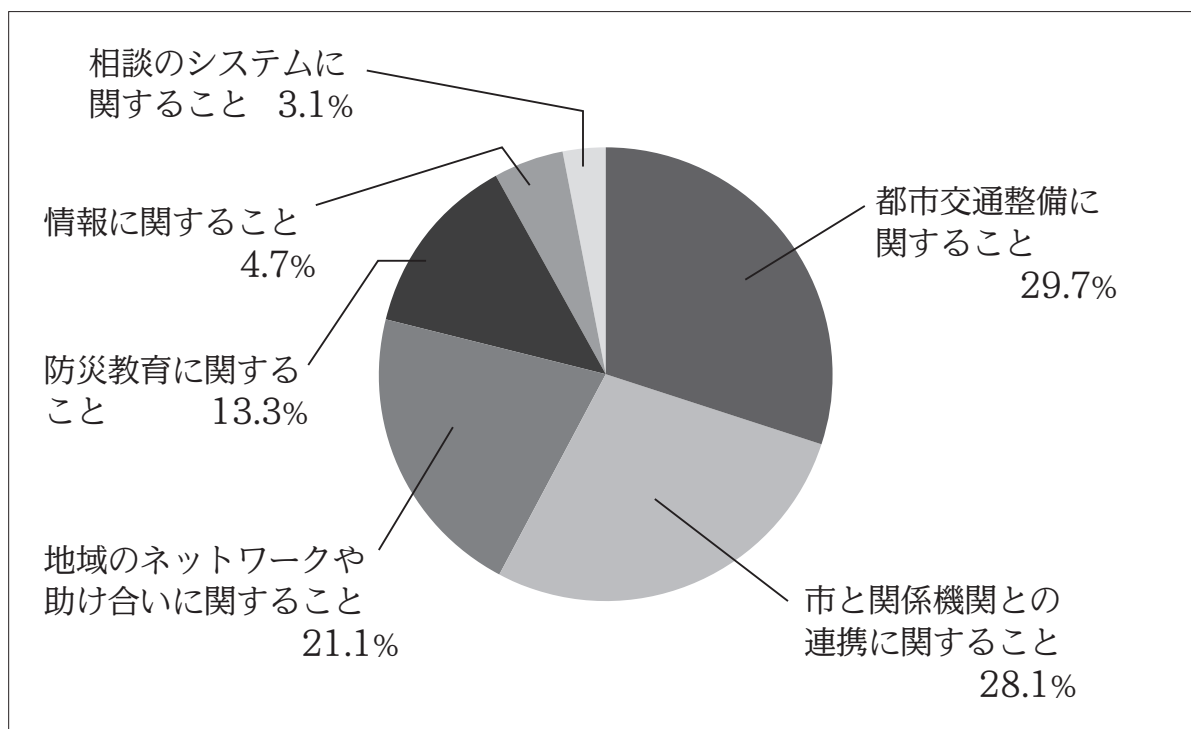
テーマB 災害に強いまち【第3回話し合い】

今後大きな災害が起こった時、あなたや三鷹のまちのことで心配なことは何ですか？

緊急時に消防車・救急車が通れない道が多いこと。 地域のネットワークができていないこと。

第3回の話し合いの投票結果によれば、緊急時に消防車や救急車が通れない道が多いなど、都市交通整備に関することが 29.7%。次いで、市と関係機関との連携に関することが 28.1%。人的ネットワークができていないなど地域のネットワークや助け合いに関することが 21.1%。その他、防災教育や情報、相談システムに関することが挙げられた。

●三鷹のまちで心配なこと



●第3回の残したい意見

大雨で下水があふれるー予想される事前情報／医療や防疫／細かいことを真剣に受け入れてくれる(行政)窓口がほしい。／防災訓練の魅力不足(9/1は暑すぎる 3/11 はどうか?)／店(商店)、学校、会社の防災上の役割を痛感した。／大自然(土地に当たった)防災まちづくりができてな?! のでは、／独居世帯、乳幼児のいる世帯の確認をどうするのか!! 誰がするのか、／安否確認の方法／回覧板を復活させてはどうか

●第3回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○都市交通整備に関すること			
道路がせまく、救急車等が通れない！！(特に人見街道・山中通り)	14	38	29.7%
火災発生(道幅がせまい 延焼 消防車入らない、非難、防災対策)	8		
インフラ 狭い道、危険な場所の存在(消防車の通れない?崩れる、etc)	8		
道路が狭い！！商店街、古くからの住宅地等連雀通り(中町通り～狐久保交差点) 緊急時に消防車・救急車が通れない道が多い	8		
○市と関係機関との連携に関すること			
三鷹市と自衛隊の連携できてるのか？！	22	36	28.1%
災害時における総合病院への傷病者の集中パニック 大病院を目指してしまう心理(安心感を求めてしまう)	14		
○地域のネットワークや助け合いに関すること			
人的ネットワーク(自治会がない 高齢者の避難 格差)	12	27	21.1%
地域のネットワークができてない！！	8		
子どもたちやお年寄りを近所で協力してサポートするしくみができていない(含ペット)	7		
○防災教育に関すること			
教育、情報 わかりやすい防災教育(子供の時から、魅力のある、具体的)	17	17	13.3%
○情報に関すること			
情報の不足(避難所状況 耐震化 要支援者状況 等)	6	6	4.7%
○相談のシステムに関すること			
相談相手(人) 危険箇所の相談先(近所、行政、民生委員)	4	4	3.1%
合 計		128	100.0%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

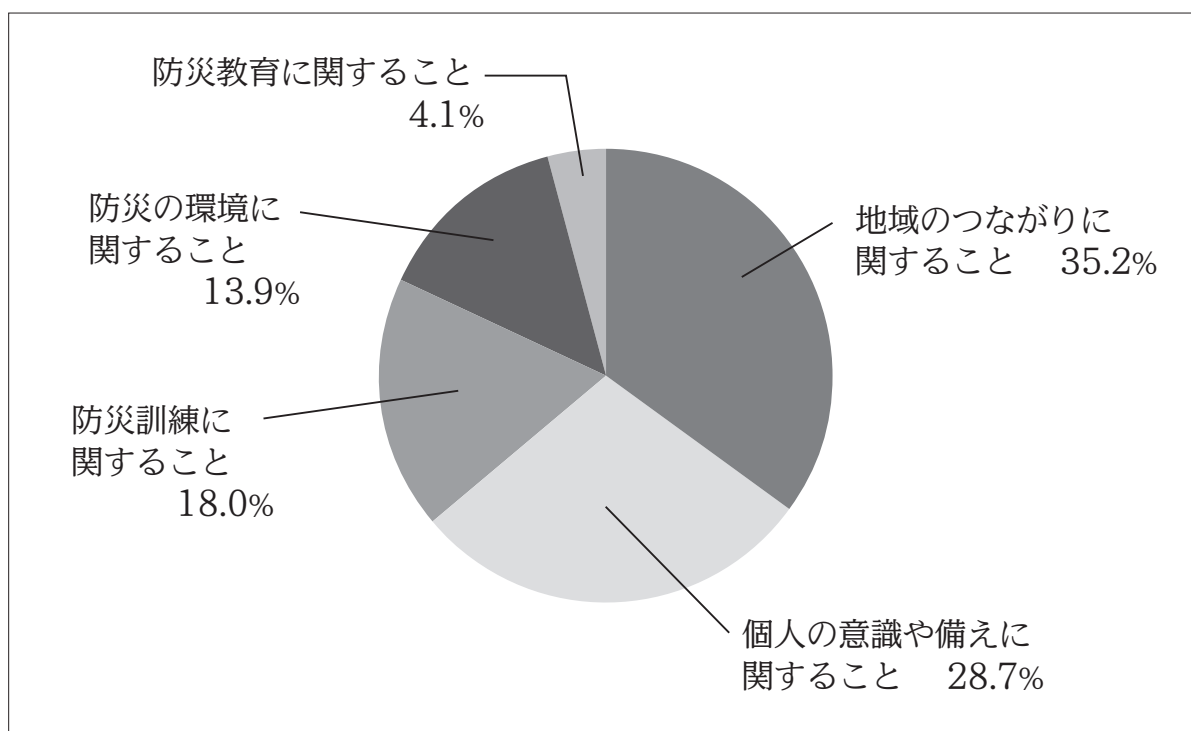
テーマB 災害に強いまち【第4回話し合い】

私たちが「災害に強いまち・三鷹」をつくっていくために日常生活の中で取り組めることはなんでしょう？

**日頃からのあいさつ運動など、ご近所とのつながりを密にすること。
家の耐震工事や防災知識を学ぶなど個人でできることをする。
防災訓練に参加する。**

第4回の話し合いの投票結果によれば、日頃のあいさつ運動など地域のつながりに関することが 35.2%。耐震工事や防災教育など個人の意識や備えに関することが 28.7%。防災訓練への参加に関することが 18.0%となった。

●日常生活の中で取り組めること



●第4回の残したい意見

個人ではできない事を市へ働きかける／きずなサロンのようなお茶のみ会／保育園と高令者の施設を合わせたような施設／危険な場所を見つけたら声を出す／各自IDカードを持つ／常緑の広葉樹の植樹を防災に有効として取り組む／公道・側溝の清掃／iパッドは災害弱者に有効！

●第4回テーマの分析結果

まとめの意見		得票数	計	得票率
○地域のつながりに関すること				
日頃からのあいさつ運動	12	43	35.2%	
共助のための地域の連携と啓蒙、例、防災庫のカギの所在 避難場所備蓄品の場所	10			
ご近所との継がりや他県との継がりを密にする	8			
【町内で行う(行いたい)こと】・アナログ方式の復活！→掲示板・回覧板	8			
【町内で行う(行いたい)こと】・デジタル方式も将来を考え試行する。←インターネット活用	5			
○個人の意識や備えに関すること				
家の1部分でも命を確保できる場所 *耐震工事などの市の補助を使いやすくしてほしい (分かりやすくしてほしい)	15	35	28.7%	
【個人・家族でできること】・教育←子供にはたのしみながら！(避難場所・経路・171・最悪の事態)・備え(できることは自分で行いたい→判断基準要！)	14			
緊急車両が通れるよう各自注意する。	6			
○防災訓練に関すること				
自分の事では日頃より防災訓練に参加し、体を鍛え精神力を養う	17	22	18.0%	
地域の防災訓練に参加する	5			
○防災の環境に関すること				
防災保全林(どんぐり)の苗木を育てる トトロの復活！！ 椎、樫、タブ	17	17	13.9%	
○防災教育に関すること				
自宅廻り及び屋内の安全確保、大人を含め子供達への防災教育を てっしている	5	5	4.1%	
合 計			122	99.9%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

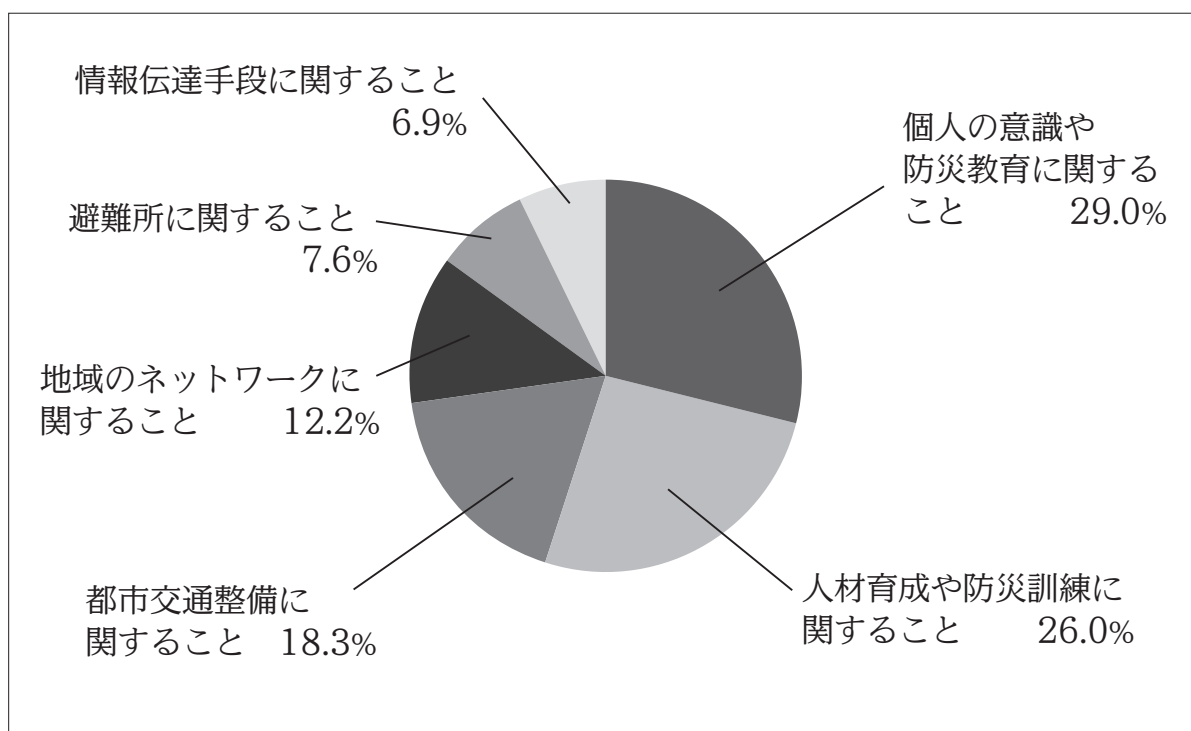
テーマB 災害に強いまち【第5回話し合い】

基本計画に盛り込んだ方が良いと思うアイデアをまとめてください。

小さい時からの防災教育やケーブルテレビを利用した啓蒙活動をする。 町の防災推進者を育成する制度をつくる。 楽しく参加できる防災訓練の実施。

第5回の話し合いの投票結果によれば、小さい時からの防災教育など個人の意識や教育・啓蒙に関することが29.0%。町の防災推進者を育成する制度の実施など人材育成や防災訓練に関することが26.0%。その他、都市交通整備に関することや地域のネットワークに関することが挙げられた。

●基本計画に盛り込んだ方が良いアイデア



●第5回の残したい意見

防災林を増やす！！／市議会議員の活用。／道路の整備・拡張。／＜欄外＞全世帯に三鷹ケーブルTVがみれたら！！／ペットの避難についての啓蒙、連携づくり→家族であるペットとの避難について、啓蒙と隣接市・獣医師会との連携づくり／放射能対策への予算配分／清澄庭園、明治神宮の森のような、長期の環境作り計画／避難所での医療ネットワークを早くつくってほしい。／避難所選挙での投票所として身近な存在としてほしい

●第5回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○個人の意識や防災教育に関すること			
小さい時からの防災教育	19	38	29.0%
【理念】自然と利便性のバランスが取れ、長く住める街「私の町」の意識(子供から老人まで)	10		
【防災啓蒙活動】・ケーブルTVを利用して(キャラクターは poki を起用!! かわいく楽しく!!)番組をつくる。 ☆新聞やポスターetc.をつくる。	9		
○人材育成や防災訓練に関すること			
町の防災推進者を育成する制度を	18	34	26.0%
【防災訓練】積極的参加への工夫。楽しくやろう!! ・縁日と融合させた防災祭り(税金使用をアピール)(会場で炊き出しを行う)(3月11日防災ズキンをかぶってイベントする etc.)	16		
○都市交通整備に関すること			
公共のミニバスを増やす。(100円)(EVの活用)	12	24	18.3%
【ハード】交通網・道路・森(大気) 公共建築物(公園・避難所)の充実	8		
【行政にやってほしい事】・道路整備において自転車などの通行帯をつくってほしい。 ・アスファルトを透水性のあるものに変えてほしい。	4		
○地域のネットワークに関すること			
【ソフト】多様な世帯に配慮したコミュニティ、ネットワーク作りの支援	9	16	12.2%
地域ネットワークの構築(コミュニティーセンターの活用)	7		
○避難所に関すること			
防災シンボルの設置(避難所の活用)	10	10	7.6%
○情報伝達手段に関すること			
市役所から災害情報伝達方法拡充	9	9	6.9%
合 計		131	100.0%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

テーマC 活力と魅力あるまち【第1回話し合い】

他のまちに住む人に「三鷹の魅力」をアピールするつもりで話し合ってみてください。

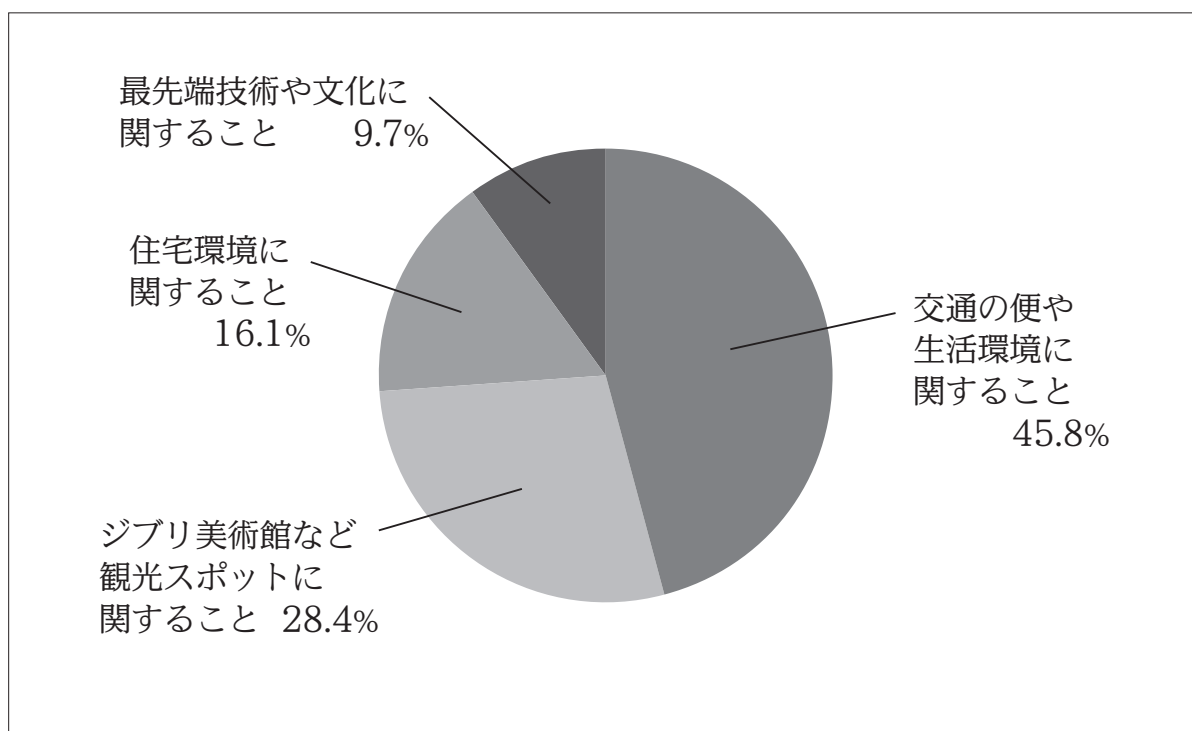
交通の便がよく、安心なまち

ジブリ、天文台、文学など観光スポットのあるまち

第1回話し合いの投票結果によれば、三鷹の魅力は、45.8%が交通の便がよいなどの「生活環境の良さ」をあげていてもっとも多く、次いで三鷹の森ジブリ美術館や国立天文台などの「観光スポット」があることが魅力であると感じている人が28.4%いる。

その他、緑が多く「住宅環境」が良いという点や「文化レベル」が高い点も魅力であると感じている。

●「三鷹の魅力」をアピール



●第1回の残したい意見

ケーブルTV(三鷹の市民情報発信方法が確立している)／0～3才児に対する児童会館が充実している／三鷹の特産フルーツを使った“三鷹スイーツ”など／ペットにやさしい／*農作物不良品→動物園馬術部→フン→農家(ネットワークを市が)／交通の利便性をもっとアピールする。JR地下鉄、特急／農家の野菜 直販マップを作る。／コミュニティスクール ボランティアで大人が関わる／病院が多い／歩いて買い物に行ける／アニメ製作会社が多い(外国人のアピール)

●第1回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○交通の便や生活環境に関すること			
歩道と自転車道の分離・整備	21	71	45.8%
便利で安心な街(交通の便、強い地盤、良い治安、多い緑)	15		
コミュニティバスの更なる有効活用(ルート/料金を含め)	14		
環境 交通至便、玉川上水、野川公園、井之頭公園、 都心に近い、農作物、レンタル自転車	12		
交通の便がいいので通勤者を取りこむことが有利	6		
交通の利便性	3		
○ジブリ美術館など観光スポットに関すること			
観光 三鷹の森ジブリ美術館(駅の発車ベルをジブリの曲で…)	17	44	28.4%
キウイ(キウイワイン、東京セレブ)	14		
三鷹独特の観光スポットを具体化 井之頭、ジブリ、天文台、野川、ICU(巡環ルート整備)	12		
名所旧跡が豊か 天文台 文学の街(太宰治、山本有三、森鷗外) 近藤勇	1		
○住宅環境に関すること			
緑が多く住宅環境が静かでストレスフリーな街	11	25	16.1%
利用可能な土地が多い	9		
玉川上水、ジブリの森等 文学と芸術と豊かなみどり	5		
○最先端技術や文化に関すること			
豊かな文化が有る(最先端技術、昔からの文学)	9	15	9.7%
津村節子さんなどの文学人も多く、杏林大やICUなどの 教育機関があり、市民の補助もあり文化レベルが高い街	6		
合 計		155	100.0%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

テーマC 活力と魅力あるまち【第2回話し合い】

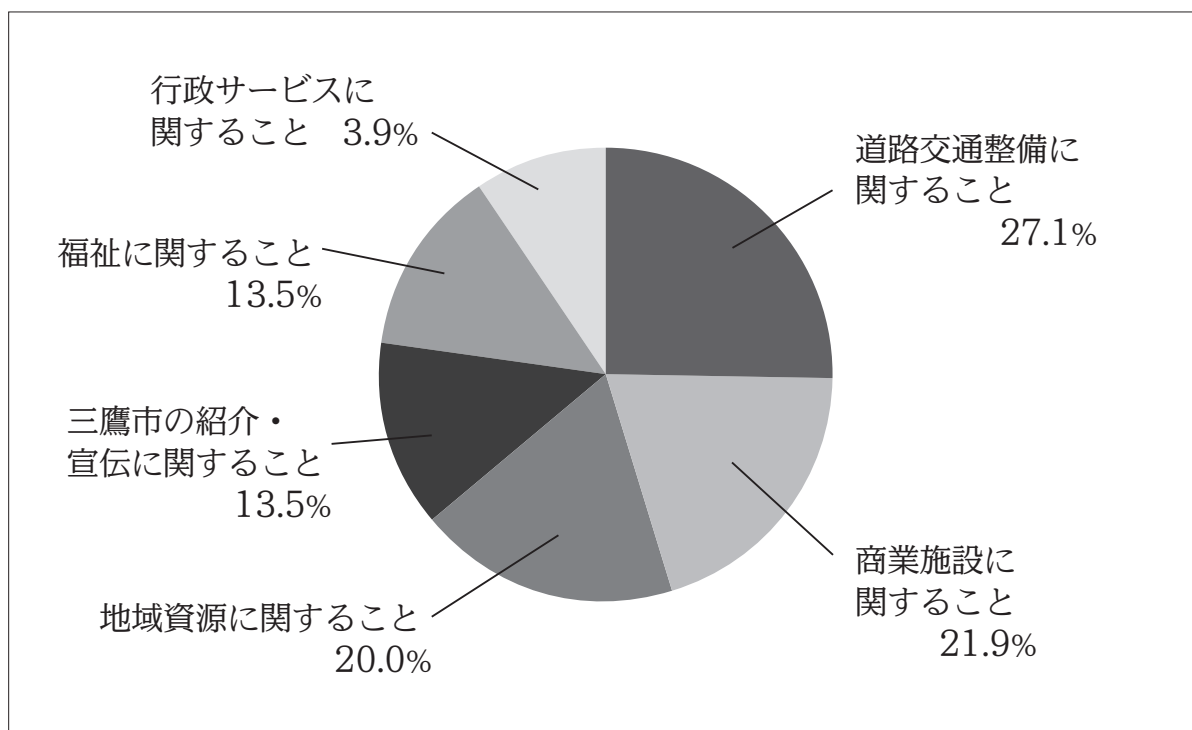
三鷹のまちの魅力や活力にとって足りないと思うところを話し合ってみてください。

自転車道路やバスの利便性などの道路交通の整備が不足している。 商業施設の不足や地域資源を活かしきれていないと感じている。

第2回話し合いの投票結果によれば、三鷹の足りないところについては、道路交通の整備に関するものが27.1%、商業施設に関するものが21.9%、地域資源を活かしきれていないと感じている人が20.0%いる。

その他、三鷹市のPR不足や福祉の不足を感じている人もいます。

●「三鷹のまち」の足りないところ



●第2回の残したい意見

自然エネルギーを活用した先端科学都市へ／街並の美しさ、景観を守る条例／子育て世代に働きやすいよう、住居と雇用を一体化させる(市内でワークシェアリング)／<欄外>「幸福度」満足度調査の実施を！！／駅前通りなど建ぺい率、容積の変更／公共スポーツ施設を増やす／コミセンのイベント情報もっと知りたい／・歴史や文化の情報発信／・コミュニティセンターの運営見直し／・空き家問題／三鷹駅前の映画館・外食施設が少ない／三鷹のあわおどりのアピールが足りない／レンタサイクルを駅前に作ってほしい／観光MAP・表示板の整備、発行／道路が狭いので歩行者、自転車などが危険

●第2回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○道路交通整備に関すること			
道路が狭い 自転車道の整備	18	42	27.1%
人に優しい道路と交通 ・便利で安全な道づくり ・ミニバス 100 円に	9		
バス交通 ・アクセス・路線・バス会社、東京都公安委員会、 ・コミュ ニティバス・自転車・空き家問題	9		
●駅が市の北のはずれにあり、市内から駅までのアクセスが不便	6		
○商業施設に関すること			
●人が集まる商業施設が少ない	17	34	21.9%
活気ある商店街づくり ・広場・ベンチ・トイレ ・魅力ある個人商店を増やす支援	12		
・個人商店の活用	5		
○地域資源に関すること			
実質的に住みたい街→安心・安全 アロカ、三鷹光器などの技術を活かし放射能に強い街づくり。震災後の 問題である放射能と共存するためのモデル事業を立ち上げ、先端 都市となる。	13	31	20.0%
技術のコラボレーション 行政がコーディネートしてほしい。それにより企業誘致ができ、雇用 が生まれ三鷹への定住につながる。税収もアップ。外国人や技術力 があるシニアの再雇用	11		
●現在ある財産(ジブリ、旧跡など)のアピール不足	7		
○三鷹市の紹介・宣伝に関すること			
“三鷹”自体の存在のアピール不足 キャラクター ジブリ『ポキ』を生かしていない	11	21	13.5%
三鷹市の市政が住民に伝わっていない？！ 物、技術があるのにPR力、マーケティング力が弱い	10		
○福祉に関すること			
高令者が働ける場、活躍の場、拡充、知識、知恵の活用	12	21	13.5%
福祉の充実 ・バリアフリー ・駅前温泉と映画館	9		
○行政サービスに関すること			
行政サービスのホスピタリティが足りない	6	6	3.9%
合 計		155	99.9%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

テーマC 活力と魅力あるまち【第3回話し合い】

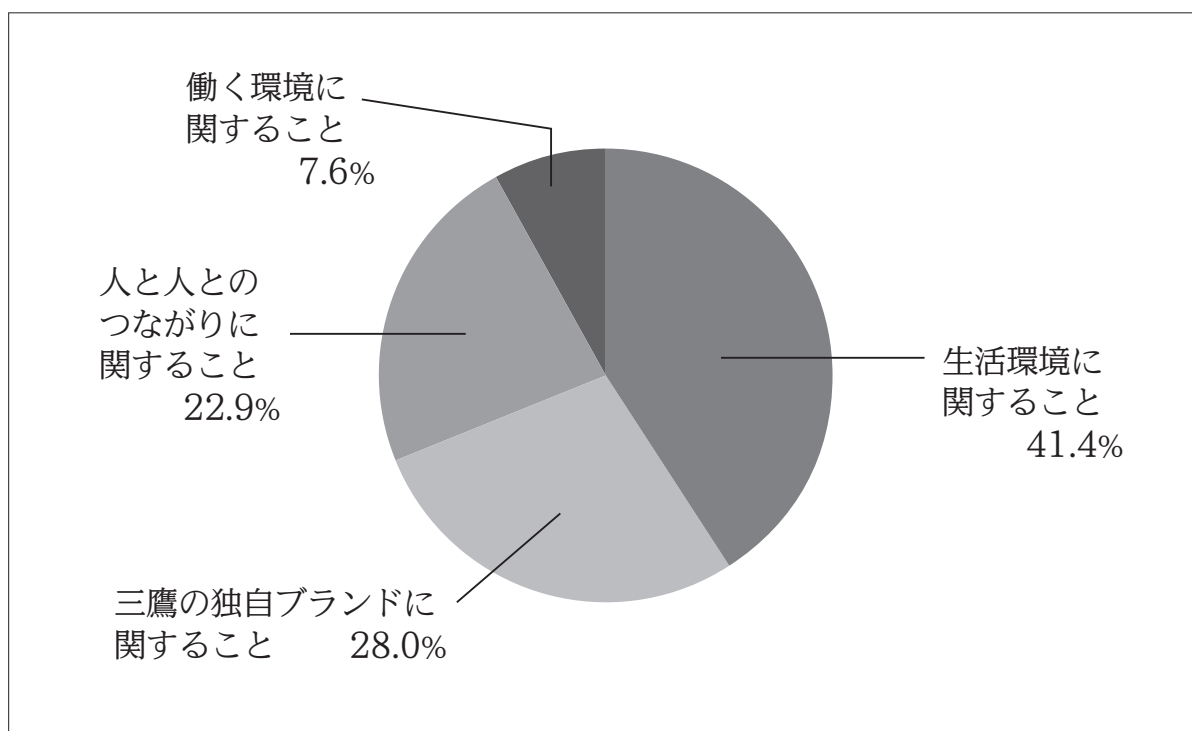
みなさんが住みたいと思う「魅力と活力のある三鷹」とは、どんなまちでしょう。

安全で暮らしやすいまち。 三鷹らしい独自ブランドをもつまち。

第3回の話し合いの投票結果によれば、みなさんが住みたいと思う「魅力と活力のある三鷹」については、安心や安全など生活環境に関することが41.4%となった。

また、三鷹の独自ブランドに関することが28.0%、人と人とのつながりに関することが22.9%であった。

●「魅力と活力のある三鷹」とは



●第3回の残したい意見

市内循環バスの整備／道路整備(一方通行化)／名産・名品がある。B級グルメ／緑を保全し、そのスペースをひなん場所として活用／公営住宅にファミリー世代の入居を→活性化／新交通機関が東八道路を行き来するじゅん環型エネルギー社会を目指す／都市型農場 工業技術力で日本でモデルになる産地／子育て、高齢者 経験した人が情報を交換できる／ジブリを地域ブランドにする／バス会社を1社にする／ムーバス 100円以下／市議会議員の存在が遠い。／アーケードがある町。ねこの手横町を作る。／地域・学校・家庭みんなで人を育てる町

●第3回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○生活環境に関すること			
●ライフラインを確保し安全に暮らせる街、 (空気・水・食料)放射能から街を守る！！	20	65	41.4%
遊休地の市内サイクルロード 歴史の散歩道	17		
住環境が良い町(安全・治安・道路の整備 etc.)	10		
介護を含めて一生涯住みたいと感じる施設が多い。	9		
治安が良く子育てしやすく、教育(学校)レベルが高い。	9		
安全・安心な街	0		
○三鷹の独自ブランドに関すること			
行政業革、日本で数年連続トップをブランドに ★「課題解決プラットフォーム」の市民版！！ IT の活用、町会・コミセンの活用	14	44	28.0%
三鷹独自のイベント	11		
三鷹のブランド“憩”人にやさしい、安らぎがある、 落ちついた街 三鷹は三鷹らしく！！	10		
●ジブリのイメージを街全体に活用する 具体的には ①フラッグ多用、キャラクターの活用(トトロ…)	9		
○人と人とのつながりに関すること			
年代・人種・性別などを超えたコミュニケーションが でき、個々の地域が活性化した町	19	36	22.9%
会話ができる商店街(商店街を活用したコミュニケーションと経済の 活性化)	9		
『若い世代とシニア世代の融合』 人と人とのつながりを大切にしまち、 新しい価値の創造の場	8		
○働く環境に関すること			
SOHO支援が充実している。PRも必要	8	12	7.6%
●幅広い年齢層の人たちが働ける個性豊かな店舗 づくりと街や道に花や樹木を多く取り入れる	4		
合 計		157	99.9%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

テーマC 活力と魅力あるまち【第4回話し合い】

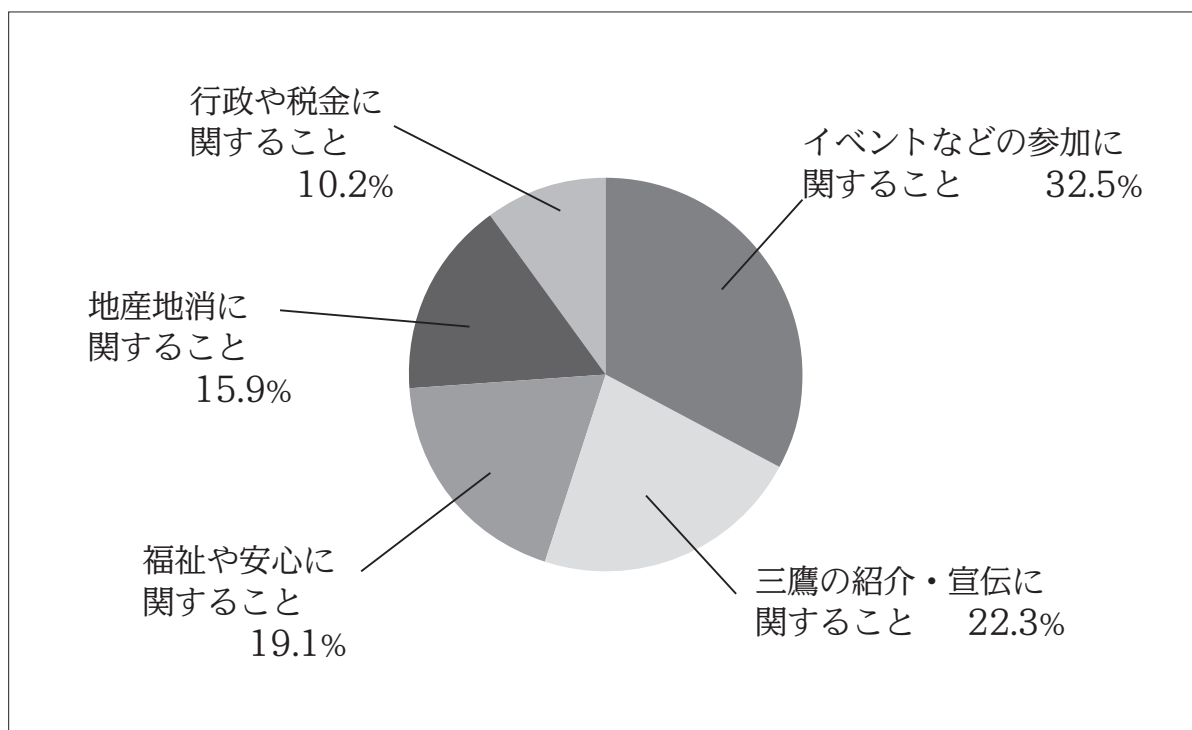
三鷹のまちの活力を維持・向上するために私たちができることはなんでしょう？

高齢者の社会参加や市内のイベントなどに参加することが大切。 情報発信や口コミなど、もっと三鷹をPRする。

第4回の話し合いの投票結果によれば、まちの活力を維持・向上するためには、市内のイベントやボランティアなどにできる範囲で参加することが大切と考えている方が32.5%いる。

また、三鷹の紹介・宣伝をしていくことが大切と考えている方が22.3%いる。

●まちの活力を維持・向上するために



●第4回の残したい意見

ミニ観光都市を市民の力で考える。／大型駐車場の確保。／駅の道的なアンテナショップを作る。／「広報みたか」を読みたくなる誌面にする。／市内にカメラを設置(お天気カメラ・富士山カメラ・交通情報)／ITを活用(ホームページ・ブログ・SNS)／三鷹の企業の科学技術をまとめて会社育成(循環型)…(例)ジェットコースター型交通手段／縄文時代のように千年～を超える自然に易しい社会／井戸水維持／ペットのさんぼで仲間づくり 気軽にあいさつ！／ドッグラン(遊休地)／●市議会議員は時給でやっていただきたい。／●井の頭公園で鷹を育てる。

●第4回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○イベントなどの参加に関すること			
●高令者にきっちんと対貨を払って色々な場で社会に役立てる。 行動してみる。あいさつ・ウォークラリー(イベント参加)	18	51	32.5%
知りたがる。広報紙・ポキネット(SNS)	12		
●各市民が色々な催に積極的に参加する。ボランティアも。	11		
●市民参加のイベント	6		
	4		
○三鷹の紹介・宣伝に関すること			
市にマスメディアに対するPRを働きかける。(市民レベルで口コミでも)	17	35	22.3%
発信する。口コミコミュニケーション・タウン誌発行	9		
●三鷹の森ジブリのTシャツを市が市民に配布(無料)して各自が三鷹をPRする。(太ザイも)	9		
○福祉や安心に関すること			
コミュニケーションの向上・長屋文化(あいさつ・ボランティア登録・サポート・認定…)	16	30	19.1%
アイデア集約、相談、コーディネートの場を作る。安心して子供を産める町	10		
福祉、医療の充実を計る 現有する資源等の共有を図るPR	4		
○地産地消に関すること			
●市内で消費(・町内の人々が、町内の店を紹介する。 ・地元の会社を活用する。)	17	25	15.9%
・三鷹産の物を買う(地産地消) ・緑化 ・空家の活用	8		
○行政や税金に関すること			
・自分が払った税金の使い道の把握 ・費用対効果を見る	13	16	10.2%
●行政に対する要望 ☆三鷹市を紹介する。	3		
合 計		157	100.0%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

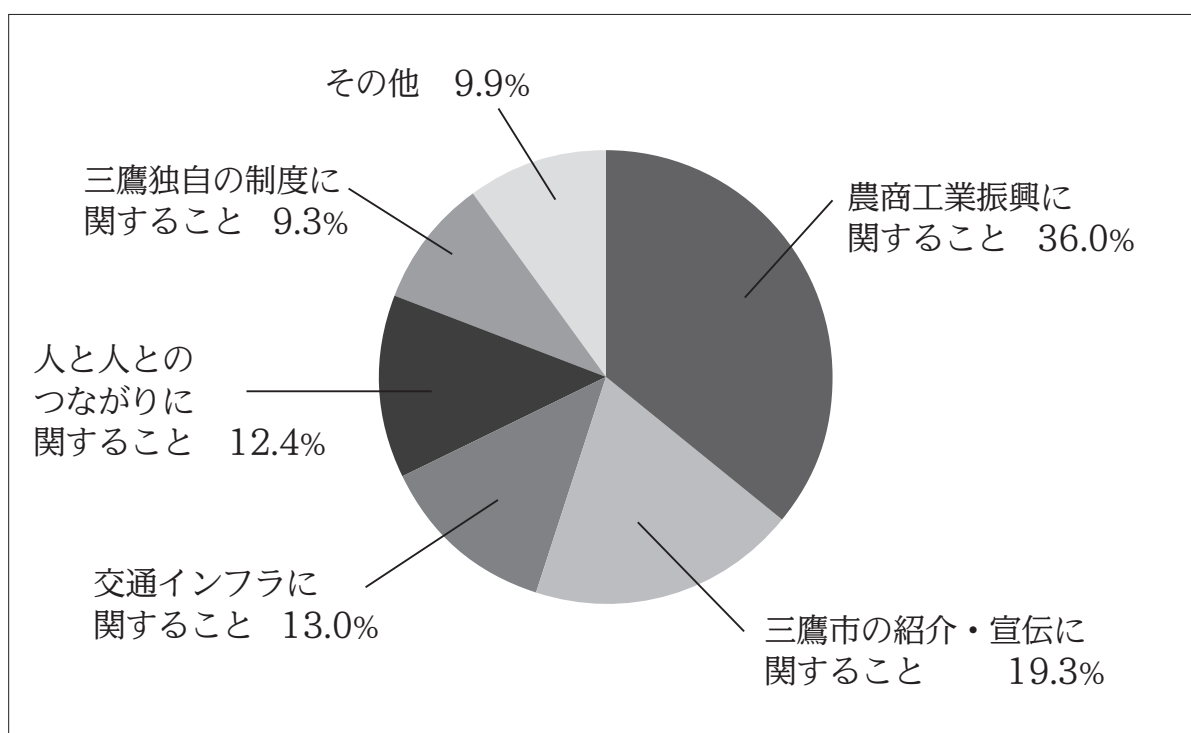
テーマC 活力と魅力あるまち【第5回話し合い】

基本計画に盛り込んだ方が良いと思うアイデアをまとめてください。

三鷹ブランドの確立など農商工業振興のためのアイデア。 三鷹市を紹介・宣伝するためのアイデア。 交通インフラに関するアイデア。 など

第5回の話し合いの投票結果によれば、農商工業の振興に関するアイデアが 36.0%あり、次いで、三鷹市を紹介・宣伝するためのアイデアが 19.3%、その他に、交通インフラ、つながりやコミュニケーション、三鷹独自の制度に関するアイデアなどが出た。

●基本計画に盛り込んだ方が良いアイデア



●第5回の残したい意見

車道・歩道・自転車道を分ける／路線バスのパス券が各々共通で使えるようになれば便利(周辺の市との共通化含む)／障害者や高齢者が生き生き暮らせる街／パブリックコメントへのフィードバック／三鷹の商店地産野菜のみならず、ベンチャーにも仕事を頼めるしかけ。／JRとコラボして電車庫を生かして観光資源として“オタク”を呼込む／三鷹の発車ベルをジブリの曲に！！／長屋文化を大切に人とのつながりがほしい。／国際アニメフェスタを武蔵野市と共催する(リアル猫バス、発車オーライ。／観光スポットで割引券をはいふすることなど。／三鷹といえば「○○！」というシンボルやカラーをつくり、周知・徹底をはかる。／周辺地域との連携したイベント開催。(三市物語)／市民全員が市長の気持ちで考える。

●第5回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○農商工業振興に関すること			
三鷹の魅力をもっとアピールして！	15	58	36.0%
ビジネスモデル構築のコーディネート・市民ファンド 見学ツアイベント(工場、文学)	14		
地場産業や企業のコラボレーション(農業と商業のコラボ、異業種 企業でのコラボ etc.)	11		
三鷹のブランドを決める(キャラクター、お菓子、イベント etc.)	7		
観光と商業の発展を充実させる。	6		
☆農業のブランド化・差別化・エコ・安全性(放射能) ・工業と協業	5		
○三鷹市の紹介・宣伝に関すること			
ジブリ美術館を核とした観光ルートマップの整備・宣伝／(三鷹存中 者以外の)知らない人がきてもわかりやすいようなもの ジブリキャラクターを活用してもらって帰りたくなるマップの作成	19	31	19.3%
三鷹市民にもっと三鷹市のことを知ってもらう為に広報みたか (ネットを含む他媒体)の有効活用をする！	8		
遊休地の有効利用(シンボルの作成など)	4		
○交通インフラに関すること			
◎交通インフラ整備の具体化・シェアサイクル・新交通の導入	21	21	13.0%
○人と人とのつながりに関すること			
世代間コミュニケーションを取れる場所(今回のような機会、 気軽に集まれる場所)	15	20	12.4%
人と人とのつながりを大切にしたい街づくりを！	5		
○三鷹独自の制度に関すること			
学生で卒業して社会人として三鷹に定住(最低4年)したら住民税を 免除する	10	15	9.3%
学校の授業を夜7:00までにして、早番遅番にして高令者(シニア) 世代の雇用と学童保育の解消 保育の待機児童の解消にもなる	5		
○その他			
武蔵野市合併して、東京都の第24区目になる。	16	16	9.9%
合 計		161	99.9%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

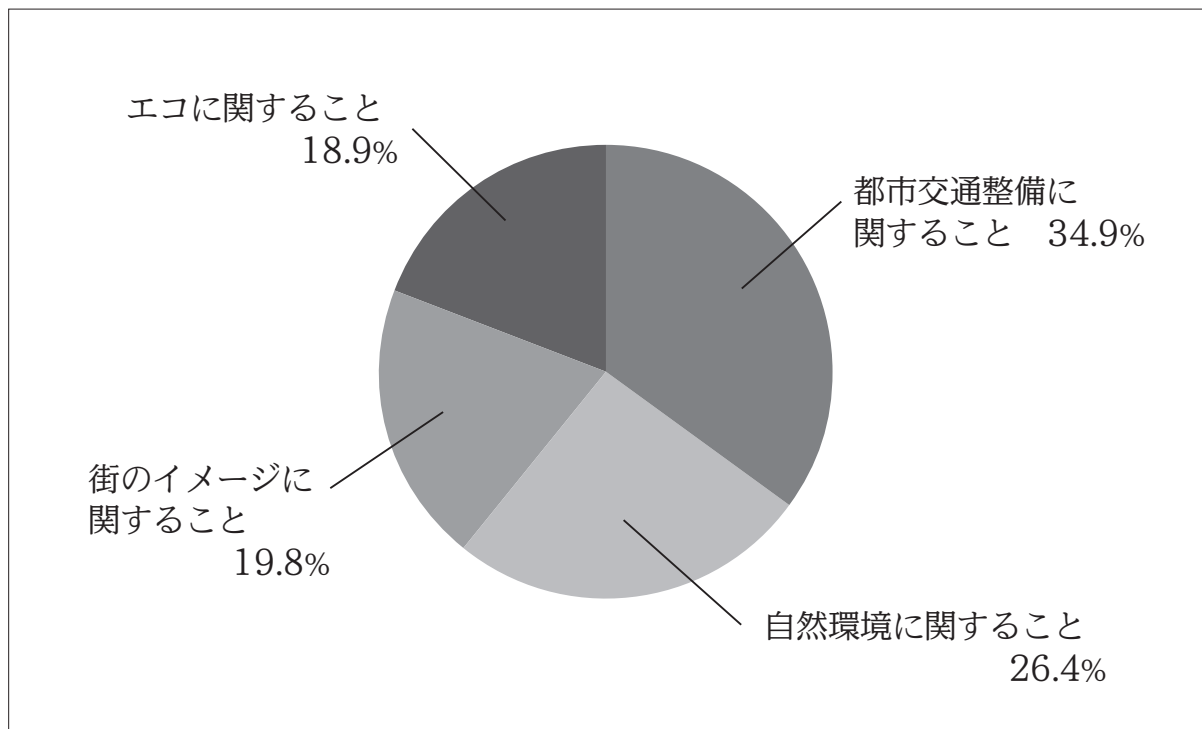
テーマD 環境にやさしいまち【第1回話し合い】

三鷹市が環境面で優れていると思うのは、どのような時、あるいはどのような場所ですか？

一部ではあるが、歩道と自転車道が分かれているところ。 緑と水に恵まれているところ。

第1回の話し合いの投票結果によれば、ごく一部ではあるが自転車道と歩道が分かれているなど、都市交通整備に関することが34.9%ともっとも多かった。この都市交通整備に関することについては、三鷹市で行っているバスライド（自転車等が発し途中でバスに乗り換えて目的地まで移動する方式）の推進や歩道と自転車道の分離について評価したうえで、より一層の推進を図ってほしいとの意見であった。次いで、豊かな自然など、自然環境に関することが26.4%を占めた。あとは、街のイメージに関すること、エコに関することとなっている。

●三鷹市が環境面で優れていると思う時と場所。



●第1回の残したい意見

風景の良い場所がある(万助橋など)／市民検診の維持／マナーが良い(タバコポイ捨て少ない、犬のフンおちてない)／空地の利用・活用について(例・駐車場が焼肉屋になりうるさい)／コミュニティセンターの活用(小・中学生の遊び場)／移動図書館がよい／整備されている公園とそうでない公園の差

●第1回テーマの分析結果

まとめの意見		得票数	計	得票率
○都市交通整備に関すること				
バスライドの推進	19	37	34.9%	
歩道と自転車道が分離されているが、まだ不足	12			
ごく一部だけど…自転車道と歩道が分かれているところ	6			
○自然環境に関すること				
緑と水に恵まれている(井ノ頭公園)+涼しい(水がおいしい)	9	28	26.4%	
水・緑・農地・公園が多いところ	8			
緑が多い(大きい公園、街路樹など)	7			
豊かな自然	4			
○街のイメージに関すること				
歴史と文学の街(新と旧の文化が共存)(ジブリ)	11	21	19.8%	
安心・安全な街(福祉充実)(夜静か)(安心安全メール有)	10			
○エコに関すること				
ゴミの分類収集が個別なのが良い!	12	20	18.9%	
エコへの取組み	8			
合 計			106	100.0%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

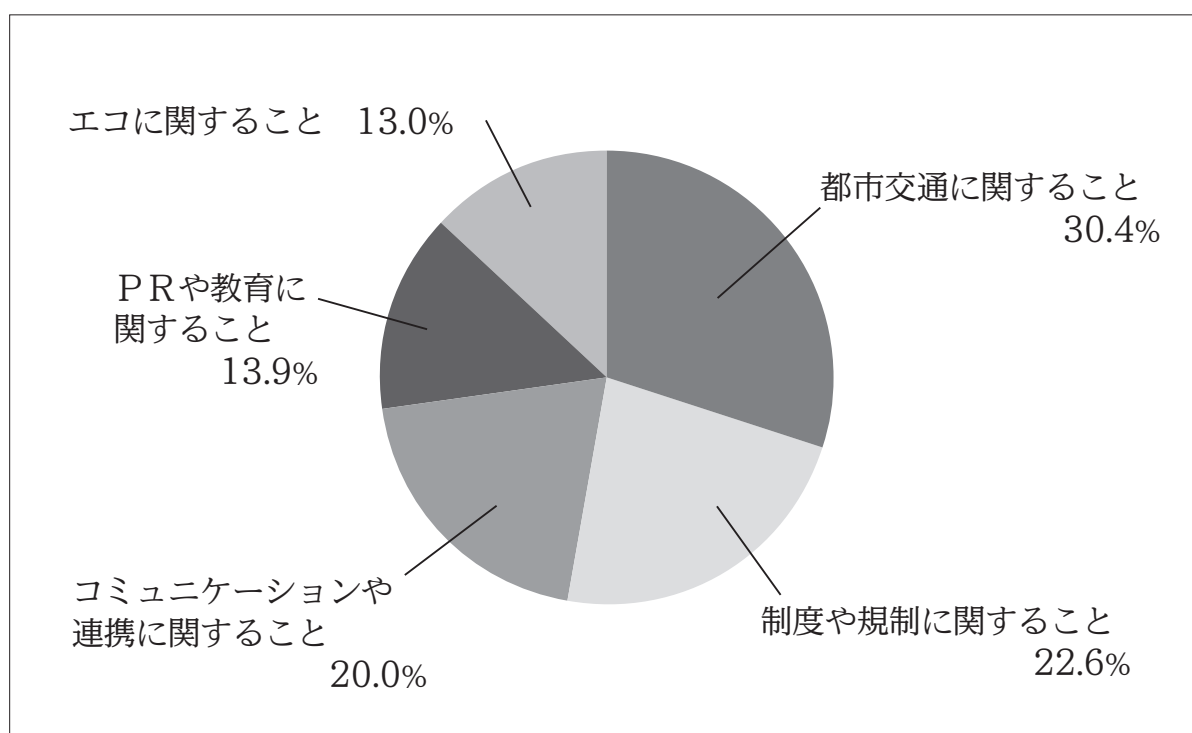
テーマD 環境にやさしいまち【第2回話し合い】

「環境にやさしいまち・三鷹」になるために足りないものや課題で、思いついたものをあげてください。

人や自転車が安心して通れる道づくり。 土地利用や騒音対策のための制度や規制。 つながるための場や機会をつくること。

第2回の話し合いの投票結果によれば、人や自転車が安心して通れる道づくりなど、道路や交通に関することが30.4%。次いで、土地利用や騒音対策など制度や規制に関することが22.6%。つながりの場や機会づくりなどコミュニケーションや連携に関することが20.0%とつづいている。

●「環境にやさしいまち・三鷹」にするための課題



●第2回の残したい意見

防災、環境改善(有線ラジオ、街のあかり)／弱者をいたわる(障害者や就職できない人)街へ／・住環境を守る法整備(騒音・各種店舗)／・コミセンの活用(小・中学生の利用拡大など)／子育て支援／自転車(道、駐輪場)環境整備／自然環境をまもる／スポーツ施設の拡充／CO2、電力などに情報公開

●第2回テーマの分析結果

まとめの意見		得票数	計	得票率
○都市交通に関すること				
人・自転車が安心して通れる道づくり	13	35	30.4%	
◎歩行者と自転車の分離等	11			
自転車と歩行者(歩道の整備)	7			
・使いやすいバス	4			
○制度や規制に関すること				
土地利用の改善 (例)①災害時に利用できる公園 ②生産緑地 ③建物の規制	18	26	22.6%	
騒音に対するルール・規制づくり 出店規制(廃品回収、呼び込み等)	8			
○コミュニケーションや連携に関すること				
新・旧の人たちのつながりの場、機会づくり	10	23	20.0%	
少子・高令化の問題(コミュニケーション)	8			
行政・市民の連携	5			
○PRや教育に関すること				
PR不足	10	16	13.9%	
・〈文化・環境〉関係のPR不足(教育)	6			
○エコに関すること				
ゴミの活用 資源化 リサイクル リユース	15	15	13.0%	
合 計			115	99.9%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

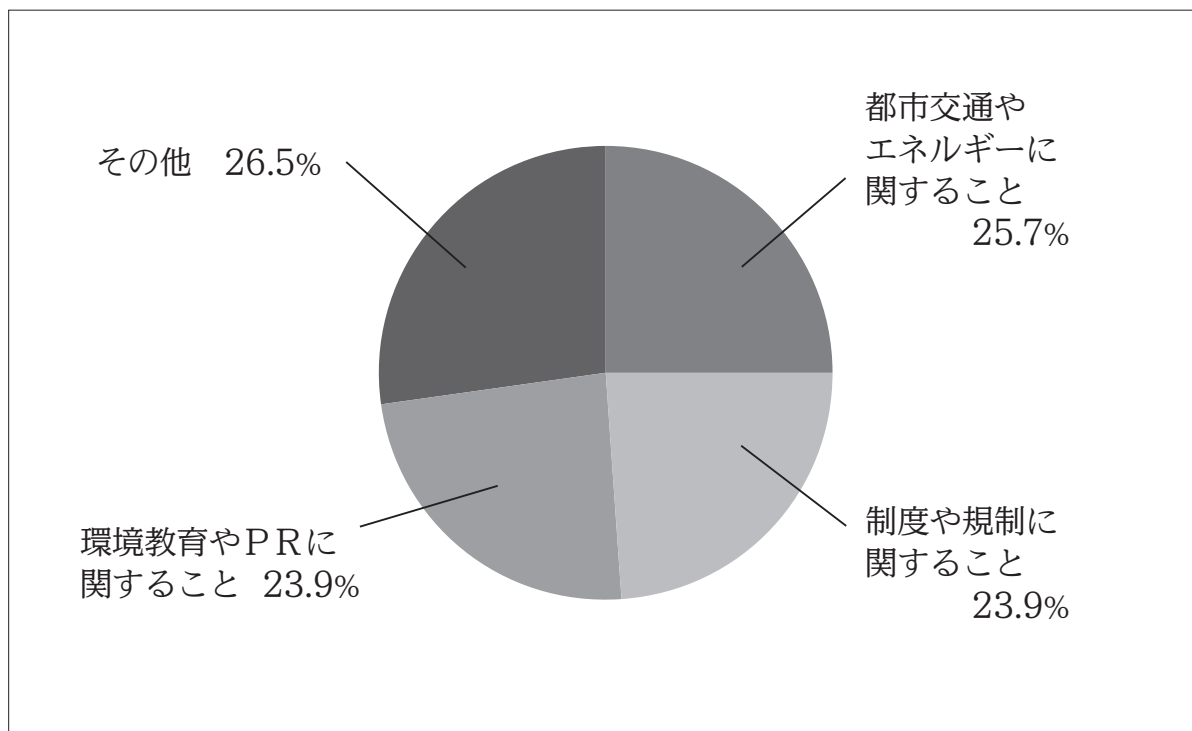
テーマD 環境にやさしいまち【第3回話し合い】

「環境にやさしく持続可能なまち」の観点から、三鷹市がどんなまちになったらいいと思いますか？

**交通網が整備され、交通の便利がよいまち。
市民のための土地利用など制度が整ったまち。
自然を愛する若い力が育つまち。**

第3回の話し合いの投票結果によれば、交通網の整備など都市交通やエネルギーに関することが25.7%。土地利用など制度や規制に関することと、環境教育やPRに関することがともに23.9%で並んでいる。その他、福祉や経済の充実したまち、安全・安心なまちなどの意見が挙げられた。

●三鷹市がどんなまちになったらいいと思うか。



●第3回の残したい意見

若い人が定住できる(Uターン)／三鷹のシンボルを作ろう！／(お金持ち企業の協力を期待)／再生可能エネルギーの推進／今ある良い所(自然など)を残していく／スポーツや文化からの「活気づくり」／高齢者が一人でも住めるような町(人とのつながり)

●第3回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○都市交通やエネルギーに関すること			
・交通網の整備（東西の連絡、自転車環境、各種手続き施設などへのアクセス）	9	29	25.7%
使いやすい交通施設を整える施設を整える（段差のない歩道、使いやすい公共交通）	9		
交通の利便性の向上・均一化	7		
エネルギーインフラの整備をする（電気自動車・自然エネルギーを使いやすい）	4		
○制度や規制に関すること			
市民のための土地利用	15	27	23.9%
まずは車規制（時間制限）	12		
○環境教育やPRに関すること			
自然を愛する若い力を育てる	15	27	23.9%
・現在ある自然と文化の保護とそのピーアール たとえば玉川上水の整備、市民農園の充実、広報三鷹のイベント版	8		
エコ意識の向上	4		
○その他			
福祉・経済充実（商店街の復活）	14	30	26.5%
・人と人の連り 子供の遊び場（中原地区）、フリーマーケット、若年層向けツアー	8		
安全・安心に優先順位を置く。	8		
合 計		113	100.0%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

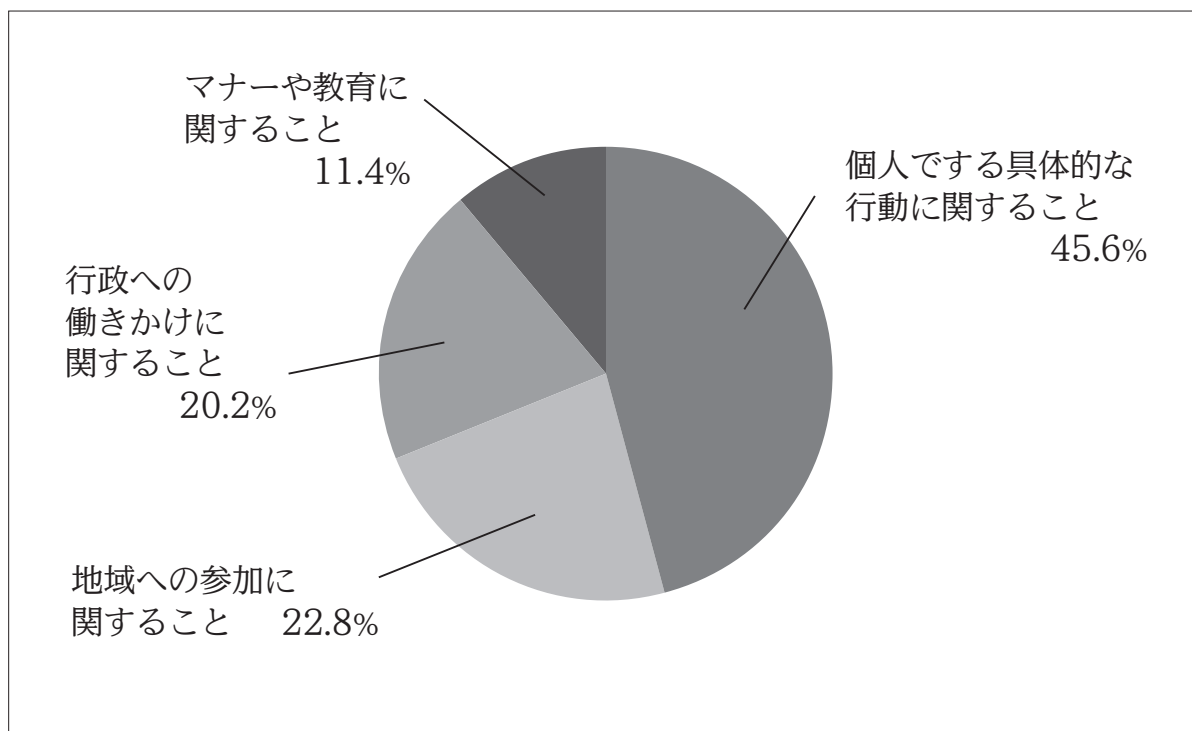
テーマD 環境にやさしいまち【第4回話し合い】

「環境にやさしく持続可能なまち・三鷹」を創るために私たちができることはなんでしょう？

**ボランティア活動や省エネのための行動、地産地消など。
積極的に地域に参加すること。
行政に働きかけること。**

第4回話し合いの投票結果によれば、ボランティア活動や省エネのための行動など個人で具体的な行動に関するものが 45.6%。次いで、地域への参加に関するものが 22.8%。行政への働きかけに関するものが 20.2%となった。

●日常生活の中で取り組めること



●第4回の残したい意見

むやみに木々を切らない、(赤松など)大木の保護／年代別の討論会／三鷹ブランドの創造(まつり・みこし)お金持ちの方々の参加／市報をちゃんとよむ

●第4回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○個人でする具体的な行動に関すること			
アイデア(三鷹Pカードを作成) ボランティア等	16	52	45.6%
※小さな親切・善意を行う	10		
シンプル 車をできるだけ使わない ムダなものは持ち込まない 省エネ家電	9		
グリーン グリーンカーテン 地産地消 ベランダ菜園	9		
地農・自産(三鷹で出来た物を食べる)	8		
○地域への参加に関すること			
積極的に地域に参加する(顔見知りを作る、あいさつ)	14	26	22.8%
町と関わる(町作り行事の参加)	7		
コミュニティ 行事への参加 自宅前をきれいに どこかに集まる	5		
○行政への働きかけに関すること			
提案をチェックできる(骨格案に地域性をもたせる)	13	23	20.2%
※行政への積極的な市民の働きかけ	10		
○マナーや教育に関すること			
三鷹の実際を知る・知らせる(住民・学校等に)	10	13	11.4%
※マナー向上運動	3		
合 計		114	100.0%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。

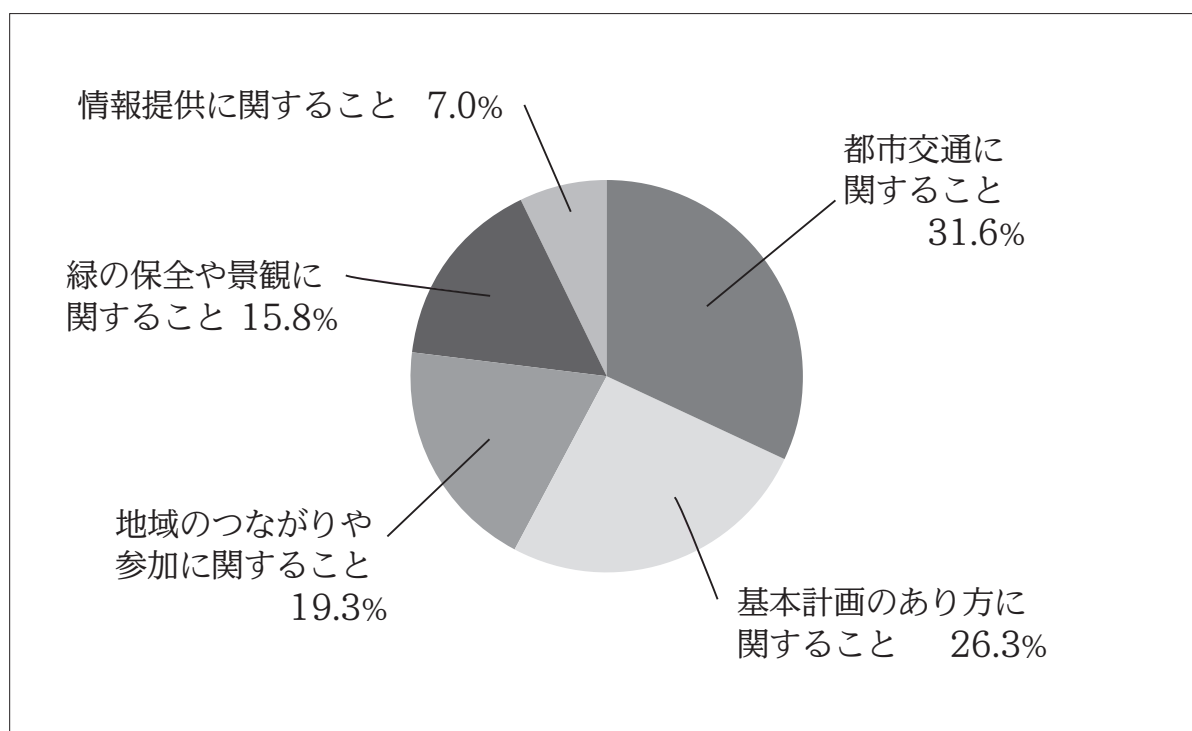
テーマD 環境にやさしいまち【第5回話し合い】

基本計画に盛り込んだ方が良いと思うアイデアをまとめてください。

**歩行者の安全や自転車利用を促すため道路に時間規制を設ける。
市の提案は市民自ら優先順位を選ぶ。
地域通貨(みたか Poki カード)を利用して、市民参加や連携のための仕組みをつくる。 など**

第5回の話し合いの投票結果によれば、道路の整備や時間規制など都市交通のあり方に関することが31.6%。基本計画のあり方に関することが26.3%。その他、地域のつながりや参加に関することや緑の保全や景観に関することなどが挙げられた。

●基本計画に盛り込んだ方が良いアイデア



●第5回の残したい意見

東西を結ぶバスライン／軽度発達障害児家庭サポート／土地・農地の活用／関係機関と連携した美化対策／再生可能エネルギーを利用しやすくするしくみづくり／30年以上の木は切らない。／地域行事への参加／防災の強化

●第5回テーマの分析結果

まとめの意見	得票数	計	得票率
○都市交通のあり方に関すること			
交通改革 車道、自転車道、歩道の整備、一方通行、バス拡充(路線・本数)	14	36	31.6%
自動車レーン、コミュニティバスの充実	10		
道路の時間規制を設ける(一通にする)	7		
時間制導入	5		
○基本計画のあり方に関すること			
市の提案は市民が優先順位をつけて選らぶ	24	30	26.3%
基本計画のスケジュール化、モニタリング、地域化	6		
○地域のつながりや参加に関すること			
みたか Poki カード	14	22	19.3%
地域コミュニティ連携の促進 助けが必要な方の情報共有と互助、子育て情報、行政と市民の連携	8		
○緑の保全や景観に関すること			
市民の土地利用(市民農園、緑化、植樹など)	10	18	15.8%
三鷹の景観(カンバン 電柱)	8		
○情報提供に関すること			
わかりやすく、伝わる PR みやすいPR、見やすい場所、メール配信など	8	8	7.0%
合 計		114	100.0%

※得票率の合計は、計算上 100.0%にならない場合があります。

※まとめの意見などは、誤字・脱字がある場合がありますが、原文のまま記載しています。